

# 運のいい「顔相」はメイクでつくれます

●竹村亞希子

顔は全身のなかでも、いちばん視線を集める部分。初対面の人に出ったときなど、顔を見た瞬間の第一印象で、親しくなれそうとか、話しかけづらいなどのイメージを持ってしまふものです。このように、顔が人に与える印象に着目し、長

年月をかけて運勢との関係を体系化したのが「顔相学」。これは、中国で三千年以上の歴史を持つ「相学」に基づいています。顔相学が指す「幸運」は、恋愛や結婚、仕事など、人間関係に左右される分野が中心。それぞれの運勢を暗示する顔相について、目や鼻など部分ごとに詳しく定められています。ただし恋愛運のある顔だけがならず、結婚運に恵まれているわけではなく、また結婚運がよいため、仕事運が悪いということもあります。たとえば眉間の広い人は親しみやすい印象を与え、恋愛・結婚運はいいですが慎重さが必要な仕事には不向き。逆に

眉間が狭い人は思慮深く、仕事面で優れていると考えられます。人間関係でトラブルを起こしがち。つまり、あらゆる運勢に恵まれた顔相というものはなく、恋愛、結婚、仕事など、それぞれに運のいい顔は異なるのです（イラスト参照）。ただ、顔だちは「メイク」によってつく

り変えることができます。これは、女性に与えられる特徴ともいえるでしょう。男性理子さんはお見合いの直後、相手の男性に与えるイメージを配慮して、目鼻だちを相対するメイクに変えたそうです。結果、まさにもついに良妻の相になり、結婚へとついに幸運の鍵は、化粧による表情の変化にあったのかもしれません。

このようにメイクによって顔相を変え、運勢を変える人も夢ではないのです。例えば、目じりを巻くようにぼかし入れたチークは、幸福を約束するもの。この目じりかまこめかみの部分は、顔相学では「妻賢」といい、恋愛や結婚の決め手となるキーポイントです。この部分にピンクをぼかし込むだけでも、恋愛運や結婚運がぐんと上昇するはず。

さらにTPOや目的に合わせて、もっとも理想的な顔だちをメイクで演出すれば、さまざまな幸運を呼び込むことができます。その際、大切なことは、まず自分の本来の顔だちをきちんとつかむこと。人の顔は、見た目のイメージで、大きく四つのタイプに分けられます。地味で淋しげに見える顔、近寄りがなくまっつい印象の顔、子供っぽく見える顔として年齢より老けた印象に見える顔。あなたの顔も、このうちのいずれかにあてはまるはず。次ページからは、この顔タイプ別に、関連メイク術を紹介していきます。

## 恋愛運を引き寄せる顔相

●いちばんの特徴は二重まぶたの大きな目と、ふくらみのある唇。大きく印象的な目は人気運と積極性を表し、多くの男性に愛され恋に発展しやすい相です。目の下のふくらみは、セックス・アピルの象徴。唇が厚い人は愛情が豊かで、特に上唇は与える愛、下唇は受ける愛を暗示。上下の唇のバランスがとれているのが理想です。眉は広め、弓形の眉は女らしさ、広い眉間は大方な性格を示します。



## 結婚運を引き寄せる顔相

●理想的な妻の相は、小さめの目としっかりしたあごが特徴です。目が小さめの人や重目の人は、忍耐強くてかえり、古風な女らしさを備えています。しっかりしたあごは家庭運に恵まれていることを暗示。さらに眉じりが下がり気味で、眉間が広いと最高です。眉が下がった人は包容力にあふれ、眉間の広さも大方さを表現。いずれも愛情に満ちた妻や母になることを表します。

## 仕事運を引き寄せる顔相

●仕事運を決定するのは、やや狭い眉間と目じりの上がった目。そして唇が薄め、大きな口です。眉間の狭い人は思慮深く、慎重。目じりの上がった、いわゆる上がり目は、負けずらいで、仕事に熱心なことを表します。口もとは、唇が薄ければ理性的で、一時の感情に流されることがありません。口は左右に大ききほど、開放的で社交的。経済力があり、世話好きの人が多いようです。

